

医療法人< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック	事業所名	看護小規模多機能 さくらの花
所在地	(〒417 - 0855) 富士市三ツ沢 248-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

運営主体が医療法人のため、医師が施設に来たり、医師と連絡が取れるようになっているため、緊急時にも安心できる環境となっております。
季節感のある行事の企画、手作りの食を楽しんでいただき、医療と介護の連携をしながら、介護をおこなっています。
館内は、ところどころに花をモチーフにしたモダンなしつらえを施し、広々として快適にお過ごしいただける施設となっております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 12 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 1 月 20 日書面上	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (人) <input type="checkbox"/> その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>「地域の人に信頼される医療と看護の提供」の理念のもと、看多機特有のサービスを意識し、実践に向け日々の業務を実行します。計画的に勉強会を行い、医療・看護・介護・リハビリ等の連携カンファを重ねサービスにつなげていく。</p>	<p>朝礼等で理念・職員行動指針を毎日唱和し職員の士気を高め、実践に向け日々の業務の中で努力を重ねています。 多職種連携のカンファレンスや計画的な勉強会(AEDの実践・人形を使っての胸骨圧迫の練習・手指消毒の効率的なやり方・嘔吐物の処理実践 等)を行いサービス向上に繋げています。</p>	<p>今後も意識を持って取り組んでいく。 地域の人に信頼される「地域医療と面倒見の良い看護の提供」を実践している。 職員に問題意識を持たせ、共通認識の下でサービスの向上に努めている。 多職種・多機能化での情報共有ができています。より充実化していき、総合満足度にも繋げていく。また、地域住民との交流の機会を増やし、地域医療・福祉にも貢献していきたい。 研修は行えているので、より充実のため、講師を招いての研修を勧める。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>ご利用者、ご家族の思いを受け止めた計画作成に努め介護・看護の情報を共有し、対策案を話し合っ実践・評価を重ね連携をします。</p>	<p>ご家族の思いやケアマネジャーの情報計画を基に看護計画を立案し、目標計画を作成しています。また職員が見やすいように保管しています。 多職種連携を図り状況の変化に合わせカンファレンス等を行い、対策・実践・評価を行っています。 利用者・家族の要望・問題点を職員で共有し改善してりようしゃの満足度向上に努めている。</p>	<p>利用者・家族の希望に沿った計画がされている。 看護・介護が連携して実践されている。 軸となるケアマネジメントを強化していく。 居宅サービス計画等職員が確認しやすいよう保管されている。 利用者とのコミュニケーションも取れている。今後も大切にしていきたい。</p>

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>状態変化時だけでなく、医療・看護・介護が定期的にご利用者お一人お一人の状態確認・把握をして対応させていただきます。 ご家族への報告・相談も常時させていただきます</p>	<p>状況の変化時以外も定期的なカンファレンスを医師・薬剤師・看護師・介護士等多職種連携により、サービス向上に努めています。 夜間の急変対応も多職種間で常に連絡を取り合って対応しています。</p>	<p>利用者に変化があった場合はいち早く家族へ報告されている。また、一人一人への対応もできていると感じています。 夜間急変時も、医師・薬剤師・看護師・介護士等専門職の連携のもとに利用者のサービス向上に努めている。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>積極的な啓発活動を具体的に行い、地域の方々のご理解をいただく機会を作る取り組みをいたします。 ご本人・ご家族が住み慣れた地域で望まれる看取りに取り組めます。</p>	<p>コロナ禍の為積極的な活動は難しかったが、近隣のスーパーマーケット・郵便局・民協などに出向き出来る範囲以内での啓発活動を行いました。 数名の利用者様に対して、見取りまでの支援を行った。</p>	<p>さくらの花の取り組みを地域の皆様に知っていただけるよう、チラシ等を利用して啓発活動に取り組めた。今後も出来る事を少しずつ行っていく。 数名の利用者様を最後まで看取ることができた。安心して暮らせるように今後も継続していく。</p>
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>地域ケア会議や地域の行事に積極的に参加し地域の現状を把握し、果たすべく役割を明確にし、近隣住民に対する介護力の引き出しや向上のための活動をいたします。</p>	<p>コロナ禍もあり地域への参加が難しかったが、地域の現状を把握し果たすべき役割を明確化し、近隣住民の方々に対しても看護力・介護力を引き出し地域の向上の為にもできる限り、努力した。</p>	<p>難しい状況ではあったが、できる範囲では行えた。 一人でも多くの利用者が、在宅での生活に安心感を持てるように取り組めたと感じる。</p>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	サービス・家族への支援等昨年と比べ少ずつですが、よくなっているように感じられます。 今後も期待しております。 研修や勉強会の実施方法は？	これからも、月1回以上の研修（内部・外部）や勉強会・カンファレンス等を通じ職員の士気を高め、サービス向上に努め支援していく。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者・家族様の味方としてその思いに寄り添っていただきました。 利用者側が希望している以上のケアをされています。	これからも、ご本人様・ご家族様の様々な思いや意向のもと、常に状況の変化に注意しながら、サービス提供をしていく。 看護職・介護職との連携を取り統一したケアの提供を行う。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	地域の重要な機関としての役割を果たしていただくことを期待します。	これからも、看護職・介護職との連携を密に取り状況に応じて、カンファレンスを行い適切なサービス提供をしていく
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	今後の活動に期待します。 来年度以降の活動に期待します。	コロナ禍の中でも、地域との関わりや繋がりをできることを行っていく。 地域との関わりを持つよう情報発信していくよう努める。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	十分な看護・介護がなされていると感じます。 引き続き利用者の方々が良い環境で日々過ごしていくことが出来る事を望みます。 今後のサービス提供に期待します。	ご利用者様・ご家族様に寄り添い、より良い環境づくりに徹し、安心して生活を送れるよう全職員が協働でサービス提供を行っていく。	